

第 55 回フローインジェクション分析講演会

芝浦工業大学工学部応用化学科 正留 隆

第 55 回フローインジェクション分析講演会が、2018 年 11 月 16 日（金）に、芝浦工業大学豊洲キャンパス（東京都江東区）にて開催されました。当日は秋晴れの好天で絶好の学会日和でした。

口頭発表 18 件、ポスター発表 15 件の申し込みがありました。また、付設展示および広告掲載には、7 社の企業にご協力をいただきました（株式会社共立理化学研究所、マイルストーンゼネラル株式会社、バイオリサーチセンター株式会社、株式会社小川商会、株式会社アクア・ラボ、株式会社三菱ケミカルアナリティック、ウシオ電機株式会社）。参加者は 49 名でした。

講演会は、「フローインジェクション分析研究懇談会」委員長の手嶋紀雄先生（愛知工大）のご挨拶から始まりました。最初に竹内政樹先生（徳島大）の座長で、「水晶振動子上に形成したヘパリン分子インプリントポリマー膜のフローインジェクション分析」、「ポリアニリン生成に基づくフロー吸光 ELISA によるジフェニルエーテル系除草剤の代謝物の検出」、「LED を光源に用いる吸光度検出器とマイクロリングポンプを用いる簡易なフローシステムの開発」、「フロー分析における微量過酸化水素検出のための Ti (IV)錯体との反応解析」の 4 件の口頭発表がありました。次に手嶋紀雄先生の座長で、1 件の招待講演および 1 件の依頼講演がなされました。まず、千葉大学名誉教授小熊幸一先生が「JIS K 0126 “流れ分析通則” 改正の要点」と題して招待講演されました。次に、(株)小川商会樋口慶郎先生が「JIS K 0170 “流れ分析法による水質試験方法” 制定から改正まで—FIA を取り巻く環境はどうか変わったか、そして未来へ」の依頼講演をされました。



口頭発表でのひとコマ

続いて、昼休みの後、ポスターセッションが開催されました。発表者は全員学生であり、先生方と活発な討論が行われていました。

午後の口頭発表では、まず、石松亮一先生（九大）の座長で、「炭素繊維上へのタンパク質の固定化」、「ヘミン吸着電極の酸素還元触媒活性を利用する溶存酸素および呼吸毒の FIA」、「濃度勾配形成マイクロ流体デバイスを用いるコラーゲン分解反応の評価」の 3 件の発表が行われました。続いて、芝浦工大の正留の座長で、「イオンイメージセンサの開発」のタイトルで服部敏明先生（豊橋技科大）の依頼講演と、「フロー系 3 流路イオンイメージセンサによるアミロイド β 検出」の一般講演が行われました。次に鈴木保任先生（山梨大）の座長で、「軸方向分散を抑えた陽イオン交換モジュールの開発とイオンクロマトグラフィーへの適用」、「A silver incorporated polyaniline SPME fiber for trace Analysis of phthalate esters in cosmeceuticals products」、「逆相系吸着分離剤の高性能化と流れ分析への展開」、「HILIC 型固相抽出用吸着分離剤の開発」の 4 件の口頭発表の後、最後に田中秀治先生（徳島大）の座長で、「JIS 改正を指向した環境指標項目の SIA」、「鯨類捕食行動のトリガー物質を探索するためのシーケンシャル気化—化学発光分析装置の開発と評価」、「触媒加水分解反応とスクラバー／蛍光検出による硫化カルボニルの分析」の 3 件の口頭発表が行われ、フローインジェクション分析講演会が終了しました。

ついで、芝浦工業大学豊洲キャンパス交流棟 2 階において情報交換会が開かれました。手嶋紀雄先生の乾杯のご挨拶の後、2018 年度フローインジェクション分析研究懇談会の授章式が開かれました。フローインジェクション分析進歩賞は石松亮一先生（九大）、フローインジェクション分析論文賞は住友琢哉氏（徳島大）ほか 4 名と、大平慎一先生（熊本大）ほか 4 名がそれぞれ受賞されました。

宴もたけなわの頃、若手優秀講演賞の授賞式が行われました。三木雄太氏（愛知工大院）、岡根大記氏（熊本大院自然）、吉岡 文氏（同志社大院理工）の 3 氏が受賞されました。最後は、田中秀治先生にご挨拶を賜り、宴を閉じさせていただきました。

日時は現段階では未定ですが、次年度の第 56 回フローインジェクション分析講演会は手嶋紀雄先

生と村上博哉先生のお世話で愛知工業大学にて開催される予定です。講演会の開催にあたっては、手嶋紀雄先生をはじめ、若手優秀講演賞の審査員をお引き受けいただいた先生方、招待講演と依頼講演をお引き受けいただいた先生方、付設展示および広告掲載にお力添えいただきました企業の皆様にはまことにお世話になりました。ここに本紙面を借りて厚く御礼申し上げます。最後に、運営が不慣れなこともあり、何かと至らぬ点もあったことと存じます。ここにお詫び申し上げます。



情報交換会でのひとコマ